科目名	税務会計論Ａ　　Tax Accounting A						
科目担当者	大内 健太郎　　ŌUCHI Kentarō						
単位数	2	配当年次	３年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	所得税はこれから社会に出た場合、必ず関わることになる税金です。また税金の知識はこれからの人生において有益なものとなると考えます。 本講義は、税金の概念、所得税、所得税の計算、消費税の基礎などを学習します。 また、その過程で税金に関連する新聞や雑誌などの記事を元に、毎講義ごとにテーマを与え、小レポートを課します。 定期試験を行います。						
授業の到達目標	①所得税、消費税の税務会計計算に必要な基礎知識を学習する。 ②なぜそのような制度になっているのか、その背景を理解する。 ③税の基礎知識を身に付ける。 ④税や予算に関わる社会問題に関して考察する力を身に付ける。						

授業計画・内容		
	1	ガイダンス：税のあらまし①税金とは・税の使い道など
	2	税のあらまし②税金の根拠・税金の目的など
	3	所得税の概要
	4	所得の種類・利子所得
	5	配当所得・不動産所得・事業所得
	6	給与所得・退職所得・山林所得・譲渡所得
	7	一時所得・雑所得・利子所得の計算・配当所得の計算・不動産所得の計算
	8	給与所得の計算・退職所得の計算・山林所得の計算
	9	譲渡所得の計算・一時所得の計算・雑所得の計算
	10	所得控除の目的・雑損控除・医療費控除
	11	社会保険料控除・小規模企業共済掛金等控除・生命保険料控除
	12	地震保険料控除・寄付金控除・障害者控除・寡婦控除
	13	ひとり親控除・勤労学生控除・配偶者控除・配偶者特別控除・扶養控除・基礎控除
	14	消費税の概要
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	税に関連する事例となるようなニュース等を新聞やインターネット、ニュースなどで探しておくようにしてください。毎回 2 時間程度行っていただくことを想定しています。
授業外学修 (事後学修)	30 分程度、講義中に出てきたキーワードを復習し、説明できるようにしておいてください。毎回 2 時間程度かかるレベルとして設定しています。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 毎回の小レポート	50% 50%	①②③④ ①②③④

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	経理教育研究会　編『基本税法』株式会社　英光社
参考文献	富岡 幸雄『新版税務会計学講義』中央経済社 中島 茂幸・櫻田 譲『ベーシック税務会計(個人課税編)』創成社
その他	